

第5回世界都市農業サミット推進委員会  
議事要旨

日時：平成29年8月30日（水）14時30分～15時00分

会場：練馬区役所 5階庁議室

1 開会

2 議事

(1) 世界都市農業サミット開催計画（案）について

事務局より資料1を用いて説明。

委員長

- ・ 事務局の説明に対して、ご質問があれば受け付けたい。
- ・ 日本大学芸術学部取組について、委員から補足をお願いしたい。

委員

- ・ 所属する日本大学芸術学部では、グラフィックデザインを専門としている。世界都市農業サミットに関連する広報物等の作成も検討したが、すでに練馬区では冊子や農業に関する情報が掲載された地図もあるため、現在の取組となった。大学2～3年生が主体である。デザインシンキングという、デザインを用いて問題を解決するという考え方を採用している。夏季休業中の宿題の位置付けで解決策を検討してもらっており、履修科目単位の認定対象ではない。参加学生は、異なる学年で構成された7名のチームで検討しており、合計3チームでアイデアを競う形で進めている。都市農業という視点や練馬の食文化をキーワードに取り組んでいる。
- ・ どこまで期待水準に達する成果物ができるかは不明だが、学生が示す案のプレゼンテーション結果は、練馬区にも共有している。これまで示された案としては、農業アイドル、農業製品のデザインコンテスト、未利用の野菜を活用したクレヨン制作等の案があり、現在は絞り込みを実施している。今後もプレゼンテーションを実施するため、練馬区都市農業調整課にも参加してもらい、意見を頂きたい。

委員長

- ・ 招聘都市については、練馬区の担当者と共にニューヨークやロンドンの都市農業を視察した。これらの都市で都市農業に関わる人は、若者が非常に多い点が印象的であった。高校卒業後すぐに都市農業の現場に携わる人もいる。
- ・ 都市農業の実践者と話をすると、正しいことを行いたいという動機や熱意が伝わってくる。すなわち、エコやサステナビリティ、コミュニティの再生や貧困対策、差別への抵抗等の社会に内在する多様な問題に対して、都市農業を通じて正しいアプローチの在り方や解決策を提示したいという意味を強く感じた。日本大学芸術学部の学生にも

共通する点があると思われ、近年は「社会的に正しい行為」について敏感に感じとっている学生が多い。こういった学生にも活躍頂ける機会があれば良いと思う。

- ・ 他に質問はあるか。

委員

- ・ 通訳ボランティアの件について、今後は東京オリンピックも開催されることから、通訳ボランティアの需要がひっ迫すると予想される。登録のあるボランティア以外にも、一般の方を活用する必要性も出てくると思うため、世界都市農業サミットにおいて必要な人数等の見通しを伺いたい。

事務局

- ・ 通訳については、練馬区に登録されている通訳ボランティアの方がおります。主に対応語は英語である。現在のところ有力候補である招聘都市の言語については対応可能と考えているが、各招聘都市からは2～3名ずつを招聘したいため、それに対応できる通訳ボランティアを確保したい。また、招聘者以外にも、国内外からの一般参加者もいると予想されるため、今後はその対応を検討する。まずは、世界都市農業サミットのイベントで通訳ボランティアの方が活躍して頂きたいと考えている。

委員長

- ・ 資料の中で、PR動画の制作を進めていると記載されているが、英語版も制作するのか。

事務局

- ・ 英語翻訳および英語字幕等の作成を予定しており、多様なシチュエーションに対応可能な形式で制作したいと考えている。

### 3 その他

事務局

- ・ この後、実行委員会設立総会が開催される。推進委員会から実行委員会に体制を変更した上で、更なる検討を進めていく予定である。なお、前回および本日の議事録については、後日練馬区のホームページ上で公開されるため、ご了承頂きたい。

委員長

- ・ 今回をもって、推進委員会を終了する。

以上